

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年6月12日
認定こども園青葉幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・健康で心身ともにたくましい元気な子
- ・一人立ちができ、きまりを守れて迷惑をかけない子
- ・美しいものにふれ、創ることを悦ぶ情操豊かな子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

コロナ禍においても一人一人の子供に寄り添った質の高い教育の実践を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	幼児教育の内容・質の向上	A	毎日、全体での終礼を行い、学年を問わず子供の様子を教職員同士で情報共有することで、子供たちが楽しく安心して活動できる体制を整えた。各学年の指導計画に基づいた教育・保育を行った結果、保護者アンケートにて高評価を得ることができた。鍵盤ハーモニカの指導では、プロのピアニカ奏者である妹尾先生による定期指導を実践した。
2	幼児教育を担う人材の育成・専門性の向上	A	教育の質の向上のため、園内に加えて園外の研修にも積極的に参加した。幼児活動研究会の八田先生をお招きした研修やマナー研修を開催したほか、園外の発達支援施設オレンジスパークやリモートでの研修等にも参加し、保育に活かすことができた。
3	感染症対策の徹底	A	エントランスに体温を検知するサーモグラフィーを設置。手洗い・消毒等による感染症対策を徹底した。子供たちも手洗いやうがいの習慣が付き、子供の体調変化にも常に気を配った結果、コロナ以外の感染症も激減した。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	目標・計画を職員一同で確認し、継続して自己評価に取り組むことで、日々の保育における課題も見つかった。今後もよりよい園となるために、探求意識を高めていくことを確認した。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	幼児教育の内容・質の向上	コロナ禍で自粛していたお泊り保育等について、状況を鑑みながら再開計画を検討する。
2	幼児教育を担う人材の育成・専門性の向上	教育・保育の質の向上のため、コロナ禍で自粛していた鹿児島県の通山保育園でのヨコミネ式研修の再開や他施設での研修など、園内・園外研修を計画・実施する。
3	家庭・地域における幼児教育の支援	認定インストラクターの研修を受けた教職員によるベビーヨガ等、地域の子育て世帯と交流できる活動を計画・実施する。

6. 評議員会の評価

新型コロナウイルス感染拡大による厳しい状況の中、子供たちのために何ができるかを考えて指導していたことを評価する。今後も継続して取り組んでいただきたい。